

5. 沿革

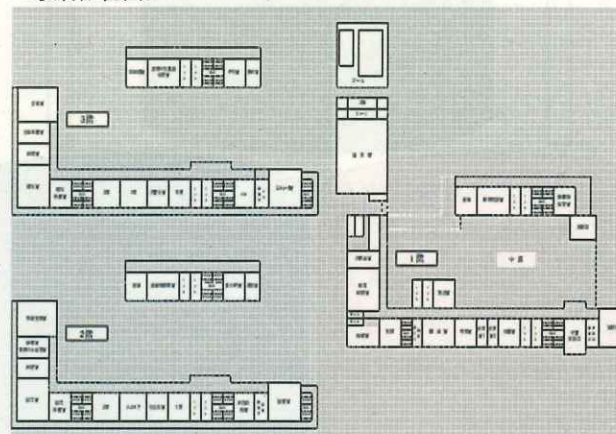
- 昭54.10.3 校舎建築第一期工事（本館）起工
 昭55.3.31 志賀町立和邇小学校より分離
 4.1 志賀町立小野小学校として開校
 10.6 体育館起工
 昭56.4.2 体育館竣工
 昭57.3.29 校舎建築第二期工事（新館）竣工
 8.9 プール竣工
 昭61.4.1 特別支援学級（小野学級）開設
 昭62.4.21 昭62,63年度文部省道徳教育推進校
 昭63.3.10 中庭庭園完成
 昭63.11.18 文部省道徳教育推進校研究発表
 平元 9.30 10月3日を本校創立記念日に制定
 平6.4.1 特別支援学級（わかば学級）開設
 平7.4.1 平成7・8年同和教育研究指定学区
 平8.11.22 同和教育研究指定学区研究発表
 平12.8 中庭インターロッキング竣工
 平13.9 校舎周り侵入防止フェンス完成
 平15.4.1 特別支援学級（わかくさ学級）開設
 平16.4.1 特別支援学級（わかたけ学級）開設
 平18.3.20 大津市との合併により大津市立小野小学校となる
 平19.4.1 通級指導教室 開設
 平20.11.14 文部科学省道徳教育推進校指定中間発表
 平21.11.6 近畿道徳教育研究大会会場校
 文部科学省道徳教育推進指定校本発表
 平22.11 給食配膳室、視聴覚室耐震工事完了
 平25.12 エレベーター棟完成
 平25.2.18 学校歯科保健の部優良校受賞
 平27.2 体育館屋根修復工事完了
 平28.12 体育館前花壇撤去、防災倉庫設置
 中庭インターロッキング補修工事
 平30.4 コミュニティスクール導入
 平31.4 県小学校サポートバック事業指定：国語科
 令2.4.1 特別支援学級「わかたけ学級」開設
 令6.4.1 創立45周年を迎える

小野小学校 校歌

1. 比良の嶺あおぐ小野の丘
そびえて高く 学び舎に
柳の教訓 受けついで
集うわれらの 小野小学校
2. 水も明るい びわの湖
たたえて広く 学び舎に
豊かな心 みがきあい
励むわれらの 小野小学校
3. 朝日に映える はなの里
かおりは清く 学び舎に
平和の目標 目指しつつ
伸びるわれらの小野小学校



<校舎配置図>



児童数の変化

S55年度396名	S58年度672名	S63年度557名
H 2年度433名	H 5年度340名	H10年度286名
H15年度255名	H20年度206名	H25年度148名
R 1年度133名	R 3年度104名	R 5年度 93名
R 6年度103名	R 7年度 97名	

令和7年度

学校要覧



滋賀県大津市立

小野小学校

〒520-0531

滋賀県大津市水明一丁目34番地2

TEL 077-594-2300

FAX 077-594-0004

MAIL ono@otsu.ed.jp

HP <http://www.otsu.ed.jp/ono/>

1. 校区の概要

本学区は、琵琶湖の西岸に沿って細長く広がる大津市の北部に位置し、西に大塚山、北に比良連峰を仰ぎ、眼下に琵琶湖を望む美しい景観と、自然に恵まれた小野の丘に広がる住宅地である。

この地は、かつて古琵琶湖層からなる堅田丘陵地帯でこれを知る地層や化石を多く見ることができる。また、古くから北陸地方への交通の要衝として、白鳳、天平、平安時代の香り高い文化と歴史の跡を残している。日本最初の遣隋使小野妹子、平安朝の歌人小野篁、書家小野道風など小野氏ゆかりの古墳や神社、遺跡に往時の姿がしのばれる。

また、湖西線の開通と共に京阪神、近隣の大津市などのベッドタウンとして、宅地開発が急速にすすむ中で、昭和45年「ローズタウン」という湖西最大の住宅団地が開発された。およそ五千人が住む閑静な住宅地の中に都市型生活の特徴が見られ、好環境のため、63年末には湖西線小野駅が新設開業され、一層発展が進んだ。

ただ、五十年以上が経過し、近年は、住民の高齢化が進んでいる。

2. 学校の概要

本校は、今年度開校46年目を迎えた。開校当時児童数は400名近く、その後700名近くまで増加したが、近年は減少の一途をたどり、今年度は97名のスタートとなった。学級数も最大18学級あったが、ここ数年は各学年単級である。子どもたちは明るく伸びやかであり、学習活動はもとよりいろいろな活動に熱心に取り組む。開校当初より縦割り活動や福祉体験活動、自然体験活動を重視し取り組んできた。さまざまな人や自然との関わりや活動を通して豊かな人間性を育んでほしいと願っている。

3. 教育目標

豊かな感性を持ち
しなやかにたくましく生きる
小野っ子
やさしく かしく たくましく

学びが楽しい学校
個の輝き 学級の輝き 学校の輝き 地域の輝き

自ら学ぶ力をつける

- ・基礎基本の定着
- ・家庭学習の習慣化
- ・高学年教科担任制の促進
- ・授業改善（ICT教育の促進）
- ・発進力を鍛える
- ・発表の場の設定

人との関わりを大切にする

- ・人権教育
人権ウィーク、道徳教育の充実
- ・異年齢交流
たてわり活動、5・5交流
- ・理解教育
障害者理解、ユニバーサルデザイン
- ・文化交流
茶道体験、福祉教育

たくましい心と身体をつくる

- ・たくましい心
柳の教訓
- ・体力の向上
体育の宿題の充実、スポーツ集会の実施
- ・健康教育の推進
基本的な健康生活習慣の定着
食育指導の充実 安全教育

教職員の姿勢

- ☆主体的に取り組む
＜教師力を磨く＞
- ☆一人ひとりを大切にする
＜資質を高める＞
- ☆チームとして行動する
＜組織力を高める＞

コミュニティースクールによる教育活動の推進



4. 学級編制・校内組織

R7. 4. 9現在

学 年	児 童 数			学級担任
	男	女	計	
1 年	8	6	14	
2 年	5	18	23	
3 年	4	4	8	
4 年	8	10	18	
5 年	6	10	16	
6 年	8	6	14	
わかくさ	3	0	3	
わかたけ	1	0	1	
合 計	43	54	97	

校長：

教頭：

教務主任/子ども支援コーディネーター：

通級指導教室担当：

養護教諭：

主任事務主事：

小学校専科指導教員：

日本語指導教員：

子ども支援コーディネーター加配教員：

学校生活支援員：

スクールサポートスタッフ：

A L T：

スクールカウンセラー：

用務員：

配膳員：